

SETOV-C

取扱説明書

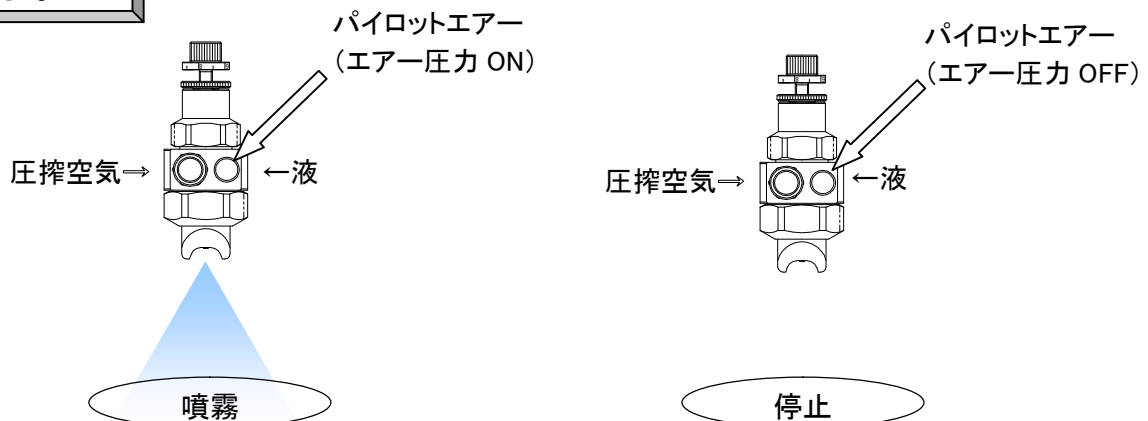
このたびは SETOV-C ノズルをお買い上げいただきましてありがとうございます。
 SETOV-C は液を瞬時に停止させる機能を備えた自動噴霧停止形ノズルです。ご満足してお使い
 いただくために、この取扱説明書をお読みくださるようお願いいたします。

特長

SETOV-C は次のような特長を持っています。

- ①噴霧圧搾空気とは別にパイロットエアで作動させる機構を設けていますので、すべての噴霧条件に対して瞬時に液を噴霧開始、停止することができます。
- ②パターン調整ノブでスプレーパターンを調整でき、任意のスプレー幅で利用が可能です。
- ③噴量調整ノブで噴量の微調整が可能です。
- ④液をシャットオフさせるピストンのシール部にグリスなどを使用していないので、衛生的です。
- ⑤接液部は、ステンレス鋼 303 とフッ素ゴムを使用しているため、耐薬性に優れています。
- ⑥部品点数が少ないため万一の場合メンテナンスが容易です。
- ⑦高粘性液でも噴霧可能です。

作動原理

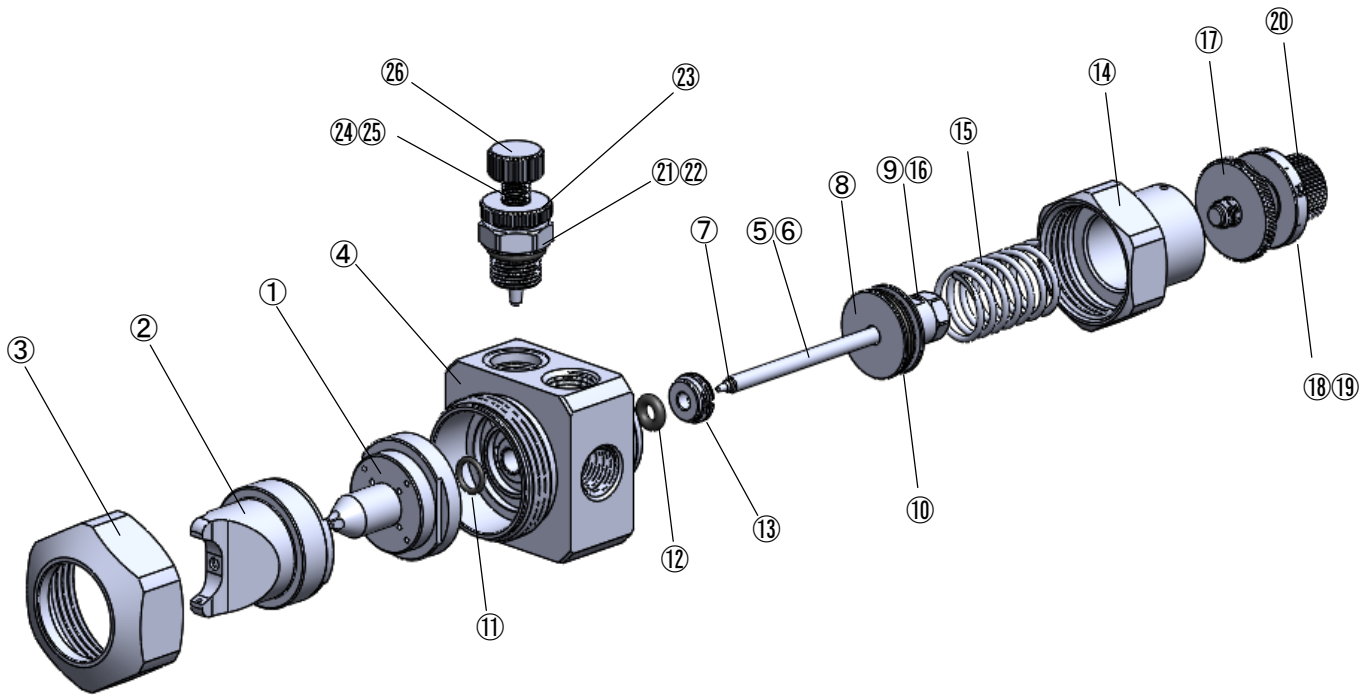


作動タイムチャート

圧搾空気	ON				
パイロットエア	OFF	ON	OFF	ON	OFF
液	停止	噴霧	停止	噴霧	停止

構造部品

部品破損、紛失などの際には下図を参考にご注文ください。



No.	名称	標準材質	⑨	ピストンプラグ	S303	⑱	ダイヤル	S303
①	チップ	S303	⑩	Y-パッキン	NBR	⑲	六角穴付止めネジ	S304
②	本体	S303	⑪	O-リング(SS-5.5)	FKM	⑳	噴量調整ノブ	S303
③	キャップ	S303	⑫	O-リング(P-3)	FKM	㉑	ニードルピンキャップ	S303
④	アダプター	S303	⑬	ロックナット	S303	㉒	O-リング(SS-8)	NBR
⑤	止水ピン	S316	⑭	スプリングキャップ	S303	㉓	パターン調整用ロックナット	S303
⑥	止水ピンストッパー	S303	⑮	スプリング(φ13.2)	S304	㉔	ニードルピン	S303
⑦	O-リング	FKM	⑯	スプリング(φ4)	S304	㉕	O-リング(S-4)	FKM
⑧	ピストン	S303	⑰	噴量調整用ロックナット	S303	㉖	パターン調整ノブ	S303

※材質 S303 はステンレス鋼 303、S304 はステンレス鋼 304、S316 はステンレス鋼 316 を示します。

配管方法

1)ご使用になる前に

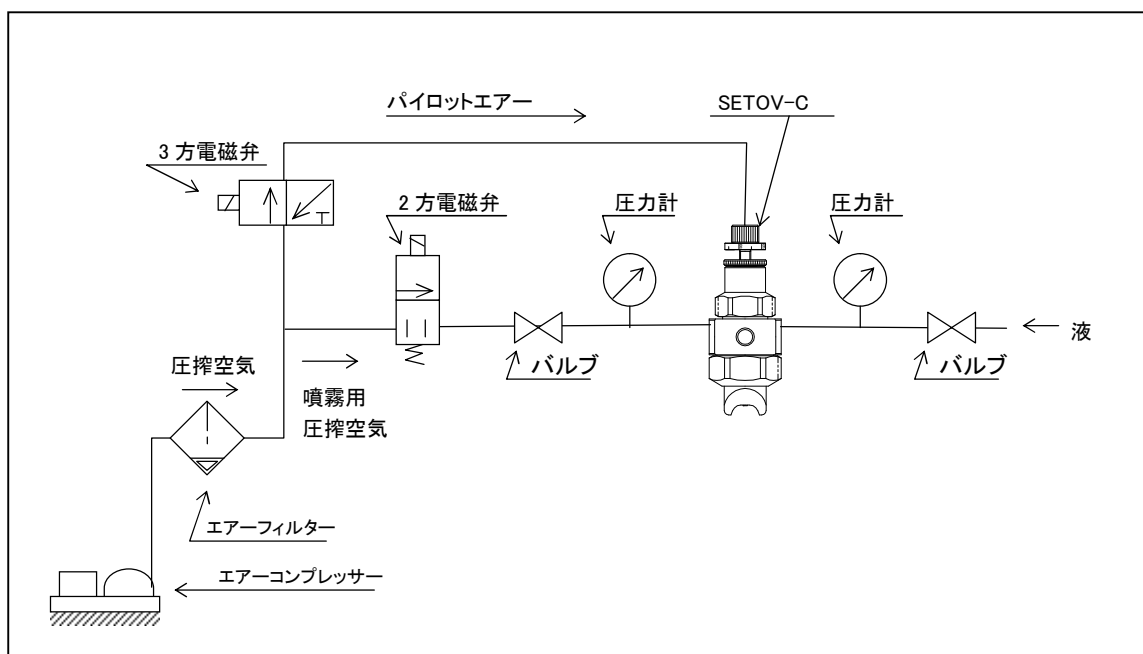
イ)パイロットエアアの供給

ピストン作動をさせるパイロットエアアの圧力は 0.2MPa 以上でご使用ください。0.2MPa より低い圧力になりますと噴霧しない場合がありますので、0.2MPa より高い圧力で使用願います。

ロ)液の供給

サクシオンまたは液加圧を用いてノズルに液を供給してください。液圧が高すぎる場合は、霧状の噴霧にならず棒流状の噴霧になるので注意してください。水噴霧の場合は当社発行の流量線図内にて使用してください。粘性液噴霧の場合は必要に応じて圧力調整をお願いいたします。

2)配管例



分解・組付け時の注意

分解時

イ)シャットオフ部

アダプター④を固定し、スプリングキャップ⑭をゆるめます。ピストン⑧の後部が見えますので、まっすぐ後ろに引き抜いてください。

ロ)ノズル部

アダプター④を固定し、キャップ③をゆるめチップ①、本体②を取り出します。

組付け時

分解作業の逆から実施してください。締め付けがゆるいと液通路部へエアアが混入してハンチングの原因になりますので、しっかり締め付けてください。(締め過ぎにはご注意ください。)

推奨締め付けトルク : 40 N・m (キャップ③、スプリングキャップ⑭)
1.6 N・m (ロックナット⑬)

※分解・組付け時には、傷をつけないよう十分注意をしてください。

噴量の調整方法

噴量の調整は、液圧を加減するか噴量調整ノブで行います。

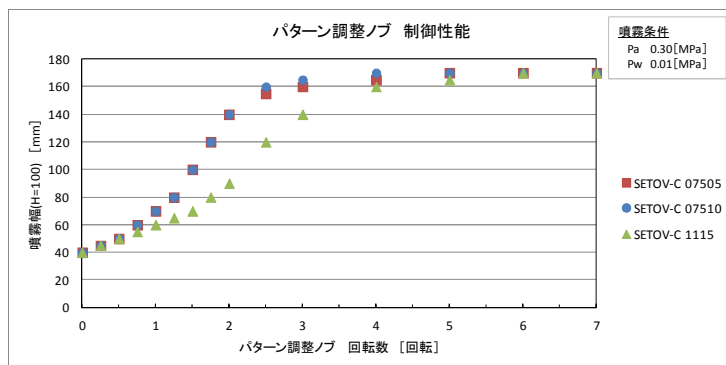
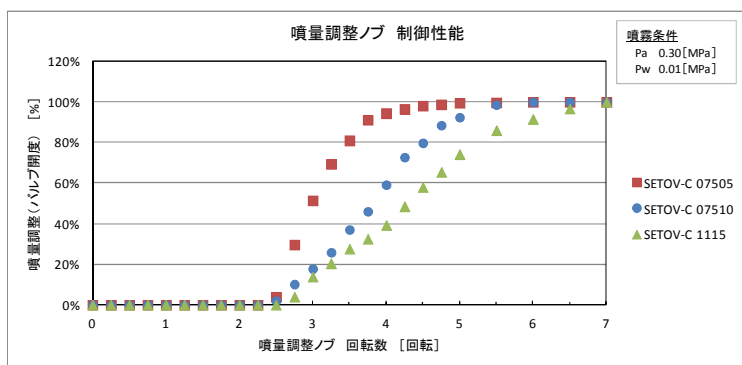
噴量調整ノブを締め切った状態(ゼロ点)から反時計方向に回転するにつれて噴量が多くなります。(下図参照)

7回転以上回転させても噴量は増えません。

噴量調整ノブはロックナットでしっかり固定してください。ゆるいと脱落する危険性があります。

スプレーパターンの調整方法

パターン調整ノブを時計回りに締め込んでいくとスプレーパターンは充円錐噴霧になります。逆に開いていくと扇形噴霧になります。(下図参照)



故障の原因と対策

異常	原因	対策
液が出ない	1.ピストンが作動していない。	a.パイロットエアの圧力を 0.2MPa 以上に上げる。 b.空気圧を高くしてもピストンが作動しない時は空気流量不足なので、配管系統電磁弁などを大きいものに交換する。 c.摩耗した⑩Yパッキンを取り替える。
	2.目詰まりしている。	a.液通路部を分解掃除する。
	3.液の粘度が高すぎる。	a.適当な粘度にうすめる。
ノズルの先端からの液もれ	1.チップと止水ピン間の水密部のごみ詰まり。	a.分解掃除する。
	2.ピストン・O-リング・またはシール面のキズや摩耗。	a.部品を取り替える。
	3.スプリングがない。	a.スプリングを入れる。
間欠噴霧する	1.O-リング・またはシール面のキズや摩耗。	a.部品を取り替える。
	2 チップとアダプターのシール不良。	a.分解掃除後再組付けする。
	3.ピストン外周部とO-リングのシール不良。	a.分解掃除後再組付けする。

※分解掃除の際は、必ず前ページの『分解・組付け時の注意』にそって作業を行ってください。